

茶



## 鹿児島県 (株)下堂園

# 『日本茶をドイツ、ベルギー、タイ等へ』

### 【主な品目】

オーガニック日本茶

### 【主な輸出先国・地域】

ドイツ、ベルギー、タイ、オーストラリア等

### 【輸出取組の概要】

- ◆ 有機JAS認証を取得した鹿児島県産有機緑茶を輸出。ドイツでは、現地販社「下堂園インターナショナル」の地道な営業努力で着実に輸出を拡大
- ◆ 「KEIKO」ブランドのアジア展開開始(平成27年2月)
- ◆ UAE向けハラール認証(平成28年11月)及びISO22000取得(平成29年5月)

### 【輸出実績】 (平成4年度より輸出開始)

	輸出額(万円)	輸出量(t)	出荷時期
平成28年度	前年の7割増	21	通年
平成27年度	—	12	
平成26年度	—	11	

### 【効果があった取組】

- ・取扱商品の詳細な情報提供(規格書、価格表、残留農薬等の分析結果等)
- ・英語表記によるホームページでの問合せフォーム

### 【取り組む際に生じた課題】

- ・相手国の頻繁な輸入規制の変更(例:タイでケースマークの表示が商品ごとに必要となった)。
- ・アジア地域における高関税、輸入枠の存在。
- ・日本とは異なる基準や規制に対する対応。



ドイツでスタートした「KEIKO」ブランドの商品ラインナップ

### 【生じた課題への対応】

- ・輸入規制の内容をこまめに確認。
- ・関係者(運送会社、関連企業、行政等)との情報ネットワークの活用。
- ・海外からの問合せや依頼への丁寧な対応。



下堂園インターナショナルにおいて取引先等へ新商品等の説明をする副社長

### 【対応の結果】

- ・相手国のルールに沿わない商品の返品を事前に防いだ。
- ・問合せ等に丁寧に対応することで、新たな取引につながった。
- ・関係者全体でノウハウを蓄積してきた結果、毎回スムーズな輸出入ができるようになった。

### 【今後の課題・展望】

- ・平成26年に国内で発売を開始したボトリング吟醸茶の海外展開。
- ・中東や東南アジアへのハラール認証茶の輸出。
- ・抹茶や業務用向け緑茶の販路拡大。



ボトリング吟醸茶 国内での発売開始(2014年12月)

【活用した支援・施策】 ジェトロ商談会、(公社)鹿児島県特産品協会事業(H28農水省事業)

【ウェブサイト】 <http://www.shimo.co.jp/>

【連絡先】 担当者名: 海外営業部 松澤 厚作 TEL: 099-268-7281